

間々田地域



ごあいさつ	52
1 まちづくりの将来像	53
2 地域のすがたと財産	54
3 地域の現況と課題	56
4 地域のまちづくりの整備目標	58
5 地域整備方針	60

※本文中の「*」印表記の用語は、
全体構想編に解説があります。

ごあいさつ



JR間々田駅



蛇がまいたの像



思川と乙女河岸跡



間々田駅周辺の商業地



グリーントウン小山南



素案がまとまって記念撮影

間々田地域は、小山市の南の玄関口であり、地理的に江戸日光のどまんなかに位置しています。また世界遺産である日光造営の際は、乙女河岸が大いに利用されました。

この度の小山市都市計画マスタープラン策定にあたり、間々田地域まちづくり検討会が設立され、平成15年の2月から熱い議論を重ねてまいりました。

間々田地域は、国道4号とJR宇都宮線（間々田駅）という2つの南北軸に加え、西を流れる思川、点在する平地林*や社寺林の杜（もり）など、利便性に加え豊かな自然を有するまちです。また「蛇祭り」という地域コミュニティ*を支える伝統行事が、地域全体に残っています。

これからは、誇れる歴史・伝統を守りつつ、明るい未来に向かって、まちなみの整備など住みよく心豊かなまちづくりを、地域のみんなで目指していくことが、ここに確認されました。

間々田地域まちづくり検討会 座長 日向野 篤

副座長 浅川美智子 副座長 鈴木 隆夫 副座長 春山 久枝

荒井 勝	大橋千枝子	小野寺重幸	金子 光雄
小森 真一	瀧沢 昭二	田口 頼行	田上 勇
藤倉 恒男	松下 清司	松本 悟	森下 洋子
山中 信子	吉澤 和子		

*敬称略：五十音順

【地域別構想検討の経緯】

- ・第1回 全体会議 [平成15年 2月 2日：中央市民会館]
- ・第2回 地域別会議 [平成15年 3月 8日：間々田公民館]
- ・第3回 地域別会議 [平成15年 6月22日：間々田公民館]
- ・第4回 地域別会議 [平成15年 9月13日：間々田公民館]
- ・第5回 代表者会議 [平成15年12月 6日：小山市役所会議室]
- ・第6回 地域別会議 [平成15年12月20日：間々田公民館]
- ・第7回 地域別会議 [平成16年 4月24日：間々田公民館]
- ・第8回 全体会議 [平成16年 7月 4日：県南体育館]

1 まちづくりの将来像

地域別検討会の大切な成果のひとつとして、みんなで考え、つくったまちづくりのテーマとキャッチフレーズです。

■ キャッチフレーズ

水と杜に護られながら
心を結び 住みよいまちへ
江戸日光のどまんなか 間々田地域

●水と杜（もり）に護られる

：「水」は思川を、「杜（もり）」は地域の樹林地をあらわしており、そのような豊かな自然に囲まれ、身近な歴史に育まれた地域の現況を「護られる」と表現しています。

●心を結ぶ

：心ふれあうコミュニティ* が連携した姿と、地域の伝統産業である間々田紐とを重ね合わせて「心を結ぶ」と表現しています。

●住みよいまち

：災害の少ない間々田地域の特長であり、既にまちづくりの目標として掲げられている「住みよいまちづくり」を加えています。

●江戸日光のどまんなか

：最後に、「五街道どまんなかサミット」の会場となるなど、間々田地域の最大の特長である「日光街道の真ん中にある宿場町である」ことを、広く発信できるような、明快な表現を使いました。

■ まちづくりのテーマ

南の玄関口である間々田駅を中心に広がる 生活の場
思川の水辺空間 農地・平地林* の緑が うるおいを創出し
歴史的資産は 交流・公益文化を物語る

恵まれた自然資源や誇れる歴史・文化に護られながら
緑豊かで安全・快適な新しいまちを
みんなで組み上げ 魅力的に育てていく
江戸日光のどまんなか
優しさと思いやりあふれる 間々田地域のまちづくり



間々田周辺の住宅地



安房神社と社寺林



栗宮工業団地



地域東部の農地と平地林



いきいきふれあいセンター「ままだ」



地域西側の水田と斜面林

2 地域のすがたと財産

■ 地域の主な財産など

※各写真の番号は右図の番号に対応しています

□ 地域の公共施設など

(※印はおやま百景)

【行政機関】

・ 間々田公民館

【福祉関連施設】

・ いきいきふれあいセンター

「ままだ」

【文化関連施設】

・ 市立博物館

【都市計画公園（地区公園）】

・ 間々田八幡公園

・ 間々田美しが丘公園

【都市計画公園（近隣公園）】

・ 乙女上町公園

【学校教育施設】

・ 小山南高校

・ 間々田中学校

・ 乙女中学校

・ 間々田小学校

・ 間々田東小学校

・ 乙女小学校

【歴史的資産など】

・ 逢いの榎

・ 安房神社※

・ 乙女河岸

・ 乙女不動原瓦窯跡※

(乙女かわらの里公園)

・ 鹿島神社

・ 千駄塚古墳(浅間神社)※

・ 泉龍寺

・ 間々田八幡宮

(蛇祭り/奉納相撲)※

・ 福地家の長屋門※

・ 鹿島神社

(南飯田神田囃子)※

【その他】

・ 歴史の道（一部推定鎌倉道）

・ 間々田消防分署

・ 間々田郵便局

・ 小山乙女郵便局

・ 小山間々田三郵便局

・ JA 間々田支店

・ 西堀酒造



1. JR 間々田駅

南の玄関口として、周辺地域からも利用がある。



2. 市立博物館

原始古代からの小山市の歴史を知るための施設。



3. 乙女かわらの里公園※

4基の窯跡・工房跡・住居跡が確認されている。



4. 間々田八幡公園※

間々田八幡宮が鎮座し、四季折々の自然を楽しめる。



5. 間々田美しが丘公園

グリーントウン小山南内に整備された地区公園。



6. 乙女河岸

思川を活用した水運の要衝として機能した河岸跡。



7. 歴史の道

城山公園・市立博物館をつなぐ散策路。（一部推定鎌倉道）



8. 安房神社※

延喜式(927年)の神名帳に載る歴史と格式ある神社。



9. 逢いの榎

願かけで男女を結び、日光街道の中間にあった大木跡。



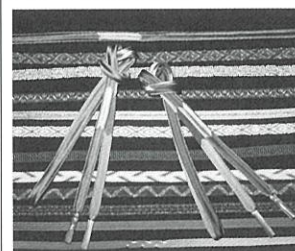
10. 間々田八幡宮蛇祭り※

子供の日に子供達が蛇体を担ぎ町内を練り歩く。



11. 南飯田神田囃子※

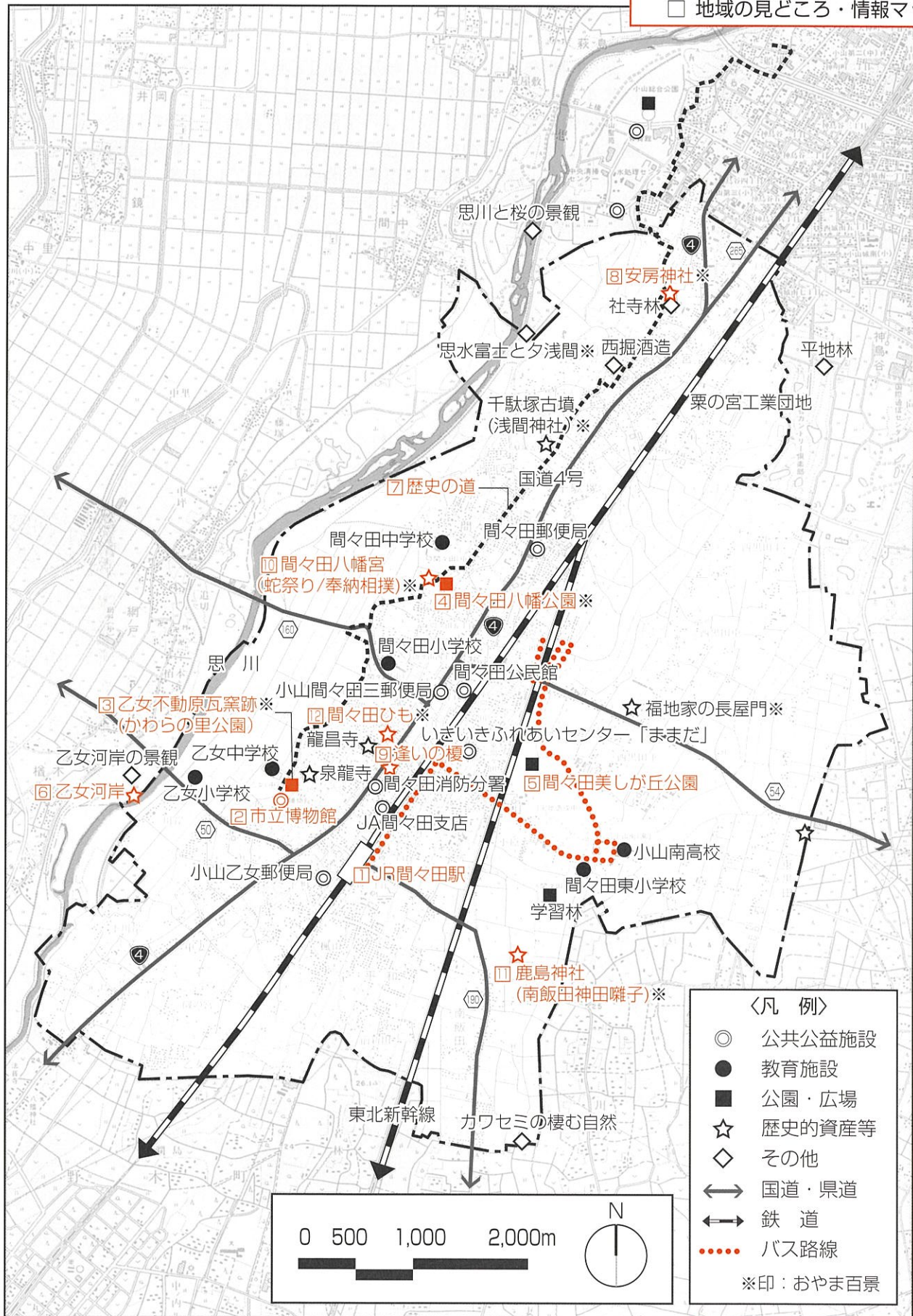
本市を代表する郷土芸能で地元の祭礼の主役。



12. 間々田ひも

県唯一の手組み紐で、起源は平安時代にまで遡る。

□ 地域の見どころ・情報マップ



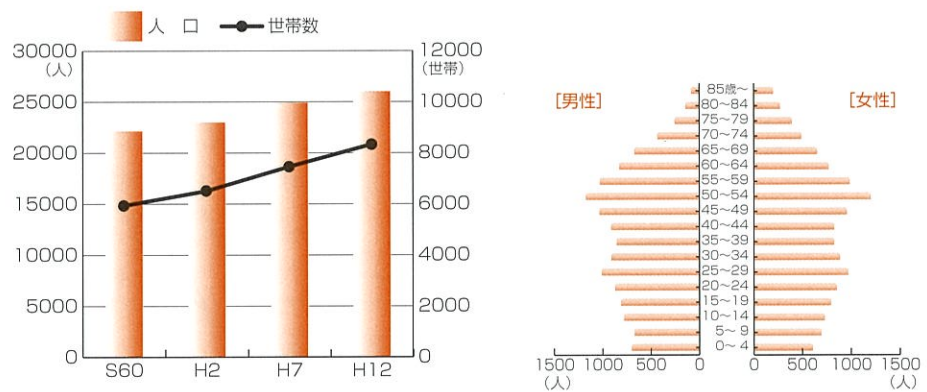
3 地域の現況と課題

1) 地域の概況

間々田駅を有する本市の南の玄関口であり、約 26,000 人が居住しています。人口・世帯数とも増加傾向にあります。

地域の中央を国道 4 号と J R 宇都宮線が縦断し、それに沿って住宅地を中心とする市街地が形成されています。その他、駅周辺等においては商業地が、北部には栗の宮工業団地が立地しています。また乙女地区には市立博物館が整備されています。市街化調整区域* には水田や畑地、樹林地が広がり、集落地が点在しています。

□ 人口の推移・5 歳階級別人口



□ ワークショップ結果（情報地図）

【情報地図の作成】→ p10



2) 現況と課題

■ 土地利用

- ・ 鉄道や国道4号に沿って住宅主体の市街地が形成されており、その周辺を農地や集落地及び思川が取り囲んでいます。
- ・ 間々田駅周辺や国道4号沿道の一部等において、商業・業務系施設の立地がみられます。
- ・ グリーントウン小山南などは、区画整理事業によって一定の都市基盤整備が行われていますが、既成市街地である栗宮や平和、楓山地区など、道路や公園等の都市基盤が未整備のところがあります。
- ・ 市街化区域* 縁辺部の市街化調整区域* において、既存の工場群が比較的まとまって立地しているところがあります。
- ・ 農地について、思川に沿った地域西側は主に水田、市街地の東側は主に畑作地として利用されています。

■ 道路・交通

- ・ 小山市への南の玄関口であり、地域の交通拠点となるJR間々田駅を有しています。
- ・ 都市計画道路* や外環状線など、市全体や地域の骨格となる道路網の形成が必要です。
- ・ 博物館と城山公園とをつなぐ「歴史の道*」が設定されています。
- ・ 生活道路等における歩行者の安全性確保が望まれています。
- ・ 間々田駅及び周辺の公共施設までの主要経路等におけるバリアフリー*化が必要です。
- ・ グリーントウン小山南周辺は路線バスが運行されていますが、鉄道西側の市街地には公共交通機関がなく、その確保が課題となっています。
- ・ 栗宮地区等においては、公共交通機関の確保等による移動利便性の向上が強く望まれています。

■ 公園・緑地

- ・ 間々田中央公園や間々田美しが丘公園は、地域の憩いの場として利用されています。
- ・ 地域西側の斜面林や社寺林、東側の平地林* など、緑の保全が大切です。

■ 自然・景観

- ・ 思川の美しい河川景観を保全・活用していくことが大切です。
- ・ 安房神社などの社寺や千駄塚古墳といった歴史的資産が多く残っており、思川や乙女河岸等とあわせたまちづくりへの活用が望まれています。
- ・ 小山市の南の玄関口としてふさわしい景観整備・魅力化が望まれます。

■ 公共公益施設・供給処理施設・その他

- ・ 地域コミュニティ* の核となる間々田公民館について、移転も見据えた機能拡大が望まれています。
- ・ 集落の人口増加が乏しいため、現在の田園環境を守りつつ、新たな居住を可能とする方策が必要です。

4 地域のまちづくりの整備目標



● 間々田駅周辺の機能充実と利便性の向上

市南部の地域拠点である間々田駅周辺は、駅舎内や駅前広場、また、駅への利便性を確保する周辺の道路等について、歩行者の安全性やバリアフリー* に配慮した整備・改善等を進めます。また国道4号沿いの商業地とともに、地域の生活圏の中心として、日常生活の利便性を支える商業機能の充実、コミュニティ* 機能の向上を図ります。



● 市街地における良好で住みよい生活環境の形成・維持

栗宮・平和地区などの既成市街地では、地区計画制度* の適用など、地元で支えるまちづくりを念頭に置きながら、道路などの都市基盤整備による良好な居住環境の形成を図ります。グリーントウン小山南など、土地区画整理事業の済んだ地区においては、緑豊かで良好な居住環境の向上・維持に努めます。また地域の工業地においては、周辺の住宅地との機能共存に留意しながら、活力基盤の形成を図ります。



● 自然資源や農業環境と調和した良好な集落環境の形成

農地の保全、農業生産環境の向上に努め、一定の立地基準緩和に沿って、新たな活力や地域コミュニティ* の創出を図るとともに、既存集落を中心とする緑住集落地として生活環境の向上・改善を促進することで、緑豊かで快適な定住型集落環境・田園景観の形成を図ります。



● 地域生活の利便性を高める移動交通環境の向上

小山市への南の玄関口として、広域的連絡性・産業拠点間のアクセス* 等を向上する幹線道路、日常生活の軸となる道路網の整備を進めます。あわせて鉄道利用の利便性向上、コミュニティバスなどの公共交通網の充実、また交通拠点（まちの駅*）の整備検討によって、市内主要施設や鉄道駅、地域間における移動交通環境の向上を図ります。



● 自然景観や歴史的資産の保全・活用と公共公益施設等の充実

思川の水辺空間や斜面林、東部に広がる田園風景、また豊かな社寺林を有する安房神社などの歴史的資産を保全するとともに、思川を軸とする市全体における資源ネットワーク* としての位置づけをふまえながら、自然環境・歴史文化の拠点として整備・活用していきます。あわせて、身近な公園や公共公益施設等の適正配置・機能充実とともに、それらのネットワーク化によって、便利で誰もが利用しやすい施設環境の向上を図ります。

住宅と工業系施設が共存した、良好な市街地の形成

地区の利便性に寄与する「まちの駅」の整備検討

都市基盤整備による良好な居住環境の整備（既成市街地）

思川沿いの水辺環境の保全・活用
（思川を軸とするネットワークの形成）

日常生活の利便性を支える
商業機能の充実、コミュニティ機能の向上

間々田駅周辺における
バリアフリーに配慮した整備・改善

【生井地域】


緑豊かで良好な居住環境の維持・向上
（都市基盤の整った新しい住宅地）

農地の保全、農業生産環境の向上

まとまった集落の活力維持・新たな地域
コミュニティの創出

緑住集落地としての生活環境の改善促進

【その他の目標】

- ・ 幹線道路、日常生活の軸となる道路網の整備
- ・ コミュニティバスなどの公共交通網の充実等による移動交通環境の向上
- ・ 田園風景や歴史的資産の保全・活用
- ・ 公園や公共施設の整備・充実とネットワーク化
- ・ 美しい自然景観の保全、良好な田園景観の創出

□ 間々田地域まちづくり目標図

【凡 例】

- 住宅系土地利用
- 商業・業務系土地利用
：地域商業地
- 商業・業務系土地利用
：沿道商業・業務地
- 工業系土地利用
- 田園・自然系土地利用
：緑住集落地
- 田園・自然系土地利用
：農 地
- 河川軸
- 鉄 道
- 主要幹線道路等
- 幹線道路
- 都市内補助幹線道路
* 予定を含む
- 交通拠点
- 地域の拠点となる公園
- 自然環境・歴史文化
の拠点
- 公共施設
：拠点施設

5 地域整備方針

■ 土地利用

□ 対応する主要整備方針イメージ

02・P172◀

04・P172◀

18・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

05・P173◀

19・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

19・P176◀

20・P176◀

● 間々田駅周辺の拠点的生活地整備

主要なＪＲ幹線である宇都宮線沿線の鉄道駅であり、また本市の南の玄関口である間々田駅周辺は、本市の主要な地域拠点としてふさわしく、便利で魅力的な生活地としての整備を進めます。

- 間々田駅周辺及び国道４号沿いの近隣商業地における、日常生活の利便性を支える商業・業務機能の充実
 - 地域拠点となるコミュニティ* 機能の充実
- 等

● 良好な居住環境や市街地環境の形成と維持・向上

市街地は、土地利用の状況や都市基盤整備の状況に応じて効果的な手法を用いながら、周辺環境と調和した良好で住みよい市街地環境の形成・維持に努めます。その際は、地元と協調・協働* しながら、また必要な支援等を行いながらまちづくりを進めていきます。

- 乙女下町土地区画整理事業の推進
 - 栗宮・平和・楓山地区等における、地元と協調した総合的で計画的な居住環境整備の検討と支援
 - 区画整理事業の済んだ地区における良好な生活環境の向上・維持
 - 間々田地区地区計画適用区域における良好な生活環境の維持
 - 平和地区における市街化の実体に即した整序化の検討
 - 栗の宮工業団地における、周辺環境との調和、共存に配慮した良好な工業環境の形成
 - 野木町や市内他地域からの入口部分の整備検討
- 等

● 豊かな田園生活環境の充実と優良農地の保全

既存集落は、その形態を活かしながら、また一定の立地基準に基づく区域指定をふまえながら、生活環境の向上・改善を促進するとともに、自然環境と調和した美しい田園景観の形成を図ります。

- 優良農地と集落部の平地林* や社寺林の保全・育成
 - 既存集落地における便利で美しい生活環境の向上・改善
 - 美しい田園景観の創出
- 等

● 自然環境に配慮した土地利用

思川の水辺空間や斜面林・平地林* などの豊かな緑地環境の維持・保全を図ります。

- 思川と周辺の自然環境の保全・活用
 - 市街地西側の斜面林の保全・活用
 - 安房神社周辺の平地林* など、貴重な自然の保全・育成
- 等

■ 道路・交通

● 小山市全体や地域の骨格を形成する道路網の整備・充実

広域的視点や周辺地域との関係、拠点間のアクセス* 向上などを念頭に置きながら、地域内の円滑な交通処理、交通サービスの向上を図るため、地域の骨格となる幹線系の道路について、それぞれの機能や役割を分担する段階的・計画的な道路網の整備を進めます。

- 環状道路（外環状線）の整備推進
- 地域の骨格を形成し、産業拠点等を連絡する都市計画道路* の整備推進
- 間々田工場群から幹線道路等へのアクセス* 向上 等

▶ 06・P173

▶ 07・P173

● バリアフリー* への配慮や自転車回遊型ネットワーク* の形成

市街地において、また豊かな自然や歴史を感じながら、徒歩や自転車などの方法で移動できるネットワーク* の形成に努めます。

- 間々田駅と徒歩圏の公共施設、周辺の住宅地等をつなぐ主要経路のバリアフリー* 化の推進
- 歩行者の安全性確保やバリアフリー* に配慮した生活道路の整備と、歩いて楽しめるネットワーク* の形成
- 歩行者専用道路の適切な維持管理
- 思川サイクリングロードなど、自転車利用環境の整備検討 等

▶ 08・P173

▶ 09・P174

▶ 10・P174

▶ 11・P174

● 公共交通網の整備等による便利な交通ネットワーク* の形成

誰もが快適かつ便利に移動できるよう、コミュニティバス* などの公共交通機関の整備拡充に努めます。

- 小山駅周辺や主要な公共施設、周辺地域などを連絡するコミュニティバス* 等の整備拡充
- 地域の交通拠点となる「まちの駅*」の整備検討（栗宮） 等

▶ 12・P174

▶ 14・P175

■ 公園・緑地

15・P175◀

16・P175◀

17・P176◀

● 思川を軸とする「水と緑と大地のネットワーク*」の形成

主に小山南ゾーンとしての位置づけの中、思川とともに育まれてきた豊かな自然環境や歴史的資産を保全するとともに、小山の個性をあらわす拠点として整備・活用を図っていきます。またこれらの誇れる財産を連絡するネットワーク* 形成を図ります。

- 間々田中央公園など、自然環境の拠点整備
- 乙女不動原瓦窯跡や乙女河岸など、歴史文化の拠点整備
- 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- 自然環境や歴史文化の拠点等を連絡するネットワーク* の形成 等

● 生活に身近な都市公園* 等の整備・拡充

街区公園や近隣公園、地区公園など、生活に身近な公園の整備・充実によって、緑豊かで誰もが心安らぐまちなかの整備を進めます。

- 都市計画公園の整備・充実
- 節目となるまちかど広場等の整備検討 等

18・P176◀

19・P176◀

● 地域住民等と協調した宅地内及び沿道空間の緑化推進

地域にお住まいの方々と協調しながら、宅地内緑化の誘導や沿道空間の緑化を図るとともに、適切かつ効果的な維持管理方法を検討し、取り組んでいきます。

- 地区計画制度* 等を活用した生垣・宅地内緑化の誘導
- 道路の里親制度等の活用による市民と協調した沿道緑化の推進
- 平地林* や斜面林、集落部の社寺林等の緑の保全・育成 等

■ 都市景観

● 地区の特性を活かした良好で美しいまちなみ景観の形成

間々田駅周辺においては、小山市への南の玄関口として、また地域拠点としてふさわしいまちなみ景観の形成を図ります。また基盤整備された地区においては、地区の特性を活かしながら、また地域住民と協調しながら、現在の整ったまちなみの維持・向上に努めます。

▶ 18・P176

- 間々田駅周辺における、にぎわいと魅力ある整ったまちなみの形成
- 間々田地区地区計画区域における、緑豊かで良好なまちなみ景観の維持・向上
- 間々田東部地区や乙女地区等における、地区内の歴史的資産や農地などと調和した良好なまちなみ景観の形成検討 等

● 地域住民と協調し、都市基盤整備等をみすえた地区の美しい景観形成

市街地内の基盤整備が十分でない地区等においては、地区計画制度*の活用を念頭に置きつつ、都市基盤整備をみすえた良好で美しいまちづくりを、地域住民との協調・協働*により進めます。

▶ 04・P172

▶ 18・P176

- 栗宮・平和・楓山地区等におけるまちづくりの推進と支援 等

● 思川沿いの自然景観や幹線道路等における水と緑の景観軸の形成

本市を縦断する母なる思川の清流と自然景観を守るとともに、地域間をつなぐ主要な軸となる幹線道路沿道の緑化や小山市への玄関口となる結節点の魅力化など、水と緑のうまいある景観軸の形成に努めます。

- 思川の清流や河川樹林・斜面林の緑などの保全
- 国道4号や外環状線など、幹線道路沿道の緑化推進と市民と協調した維持管理
- 歴史の道*の整備と維持管理
- 国道4号における、まちの境界部分の魅力化検討 等

● 田園と調和した美しい集落景観の創出

市街地をとりまく平地林*の緑と田園景観を大切に育てていくとともに、これらの自然景観と調和した美しい集落景観を保全・育成していきます。

▶ 19・P176

- 平地林*や集落地内の社寺林等の保全・育成
- 田園景観の保全・育成 等

■ 都市防災

● 雨水処理機能の向上や安全な防災施設の確保等

市街地における公共下水道* の整備等、雨水排水に関する整備推進により、雨水処理機能の向上を図ります。また建築物の不燃化・耐震化促進とともに、安全な都市基盤形成に係る道路・公園等の整備、延焼遮断帯機能の向上やライフライン* の確保など、都市の防災性向上に努めます。あわせて安全な避難施設の整備と防災体制の改善・整備を図ります。【個別方針は全体構想編参照】

■ 河川・供給処理

● 河川等の治水・保全や

清潔で安全な生活を支える供給処理施設の整備・充実

20・P176◀

思川は、河川整備や総合的な治水対策を行うとともに、貴重な自然として市民が水に親しめるような空間を創出していきます。また公共下水道* や農業集落排水の計画的な整備を推進するとともに、ごみの減量化・リサイクル化など、環境汚染防止と自然環境保全に努めます。【個別方針は全体構想編参照】

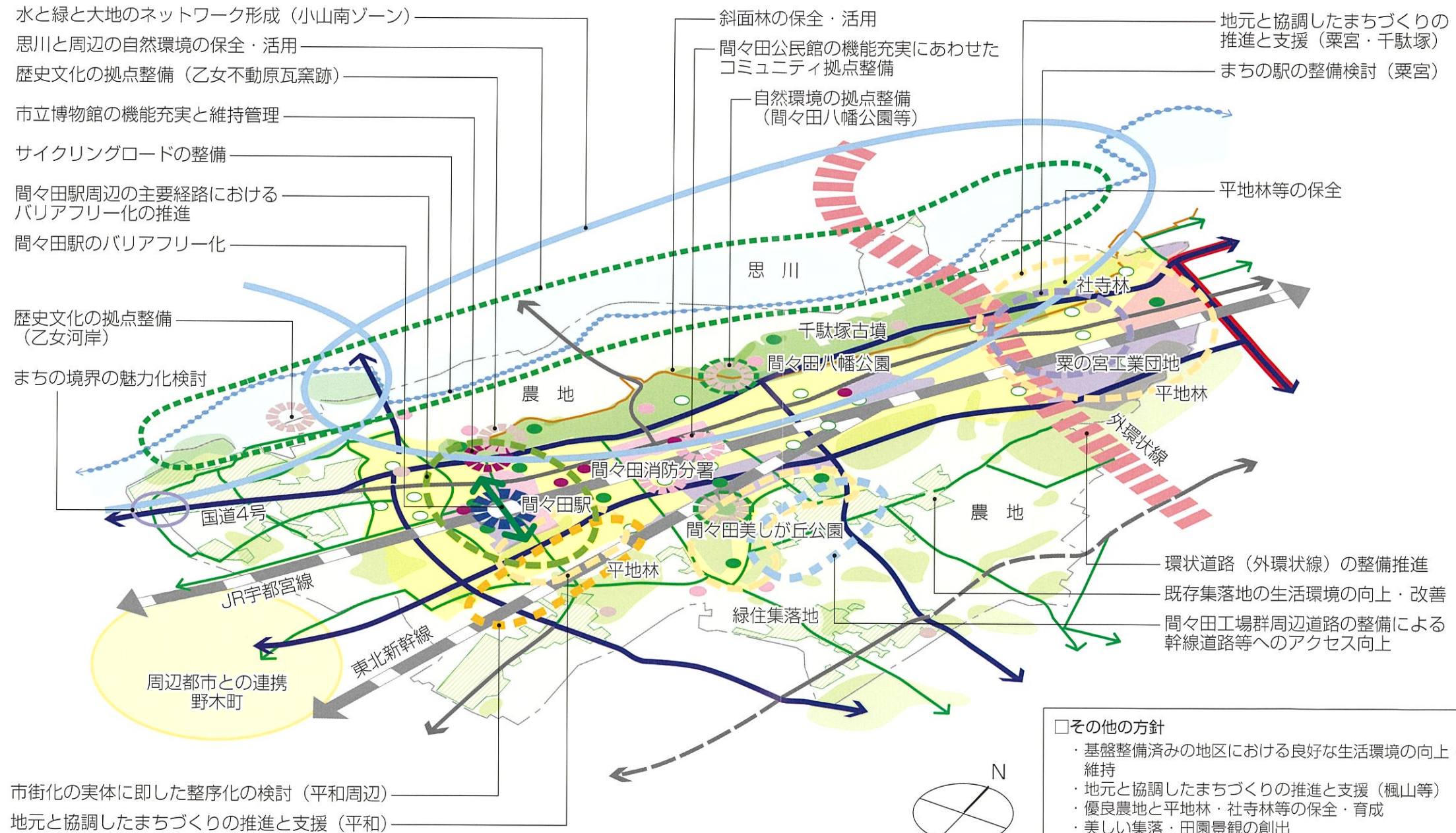
■ 公共公益施設

● 地域コミュニティ* の拠点となる公共公益施設等の適正配置、機能充実及び維持管理等

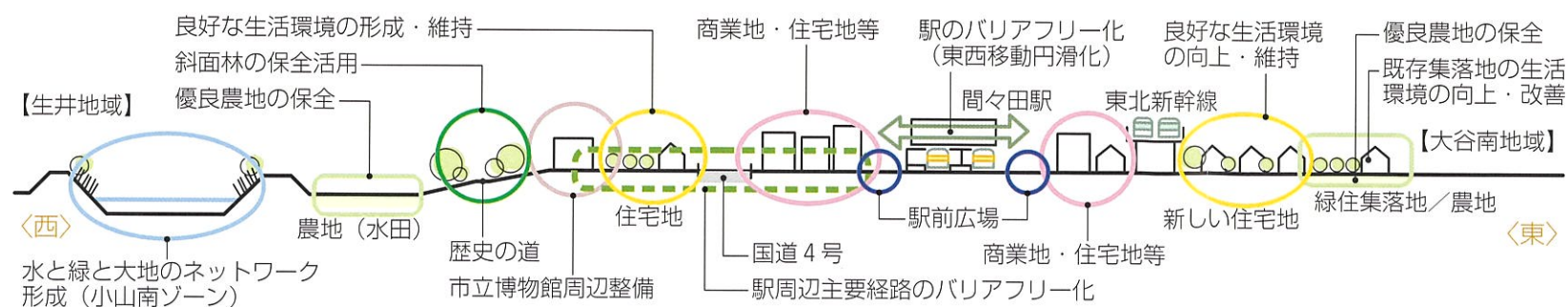
市民生活を支える行政サービスの提供に加え、地域に身近でコミュニティ* 活動の拠点となる公共公益施設について、小山市全体のバランスを考慮した適正な配置を図るとともに、既存施設を有効に活用しながら、その機能充実と、地域と協調した適切な維持管理に努めます。また、これらの施設及びその周辺においては、バリアフリー* に配慮した整備を進めます。

- 間々田公民館の機能充実にあわせたコミュニティ* 拠点整備
 - 市立博物館等の公共施設や学校教育施設、及び地域活動関連施設等の整備・機能充実
 - 公共施設等の総合的利便性を向上するネットワーク形成
 - 公共施設等のバリアフリー化推進
- 等

□ 間々田地域まちづくり整備方針図



□ 地域の主な断面構成と方針



□ その他の方針

- ・ 基盤整備済みの地区における良好な生活環境の向上・維持
- ・ 地元と協調したまちづくりの推進と支援 (楓山等)
- ・ 優良農地と平地林・社寺林等の保全・育成
- ・ 美しい集落・田園景観の創出
- ・ 地域の骨格を形成し、産業拠点等を連絡する都市計画道路の整備推進
- ・ 歴史の道の整備と維持管理
- ・ 生活道路の整備と歩いて楽しめるネットワークの形成
- ・ 便利なコミュニティバス等の整備
- ・ 歩行者専用道路の適切な維持管理
- ・ 自転車利用環境の整備検討
- ・ 都市計画公園の整備・充実
- ・ 節目となるまちかど広場等の整備検討
- ・ 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- ・ 適切で良好なまちなみ景観の誘導・維持
- ・ 道路の里親制度等の活用による市民と協調した沿道緑化の推進
- ・ 幹線道路沿道の緑化推進と市民と協調した維持管理
- ・ 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
- ・ 公共施設等のバリアフリー化とネットワーク機能強化

- 専用住宅地 (低層)
- 一般住宅地
- 地域商業地
- 沿道商業・業務地
- 住工複合市街地
- 緑住集落地
- 農地
- 河川・池沼
- 鉄道交通
- 主要幹線道路等
- 幹線道路
- 都市内補助幹線道路
* 破線は新規計画
- 地区内補助幹線道路
- 自転車道ネットワーク
- 交通拠点
- 都市基幹公園等
- 住区基幹公園 (地区公園)
- 住区基幹公園 (近隣・街区公園)
- 整備済み (予定を含む)
- 未整備
- 緑地 (平地林等)
- 水と緑と大地のネットワーク (思川流域ネットワーク)
- 自然環境と歴史文化の拠点
- 地区計画制度適用区域 (主な適用検討区域を含む)
- 行政サービス施設等
- 公民館・出張所等
- 学校教育施設
- その他の公共公益施設
- 地域に身近な広場・歴史的資産等

